

医療技術部

【検査科】

『国内学会』

学 会 名 : 第4回 聖隷福祉事業団 臨床検査部門合同学術発表会
開 催 日 : 2017年10月21日
場 所 : プレスタワー17階
演 題 : 透析患者における血糖コントロール
演 者 : 石口薫

学 会 名 : 第12回院内学会
開 催 日 : 2017年11月11日
場 所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール
演 題 : 透析患者における血糖コントロール
演 者 : 斎藤夏海

【眼科検査室】

『国内学会』

学 会 名 : 第12回聖隷佐倉市民病院院内学会
開 催 日 : 2017年11月11日
場 所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール
演 題 : 斜視による突発性複視とプリズム眼鏡
演 者 : 佐々木亜弥

【薬剤科】

『国内学会』

学 会 名 : 第62回日本透析医学会学術集会・総会
開 催 日 : 2017年6月16日ー6月18日
場 所 : パシフィコ横浜
演 題 : スクロオキシ水酸化鉄錠のリン吸着効果の検討
演 者 : 飯塚由佳、藤井隆之、山内伸章、越坂純也、森本真有、齋藤快児、篠崎みずき、寺崎紀子、田中宏明、鈴木理志

学 会 名 : 第25回日本乳癌学会学術総会
開 催 日 : 2017年7月13日ー7月15日
場 所 : 福岡マリンメッセ、福岡国際会議場、福岡サンパレス
演 題 : 乳癌周術期化学療法におけるdose-dense AC-Paclitaxel療法の有害事象について
演 者 : 富田歩子、川島太一

学開場演
催 名 : 第12回 聖隷佐倉市民病院院内学会
日 : 2017年11月11日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール
題 : 外来がん化学療法における待ち時間削減への取り組み
者 : 桑原健太

学開場演
催 名 : 第12回 聖隷佐倉市民病院院内学会
日 : 2017年11月11日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール
題 : 副作用報告の現状と改善
者 : 高山陽太

学開場演
催 名 : 第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会
日 : 2018年2月22日-2月23日
所 : パシフィコ横浜
題 : 当院における脂肪乳剤使用状況の変化とNST・薬剤師による取り組みについて
者 : 富田歩子、大木麻理子、松田裕美、青木尚美、加藤純加、青木佐紀子、津田豪太、大島祐二

『講 義』

講開場演
催 名 : 化学療法委員会勉強会
日 : 2017年4月14日
所 : 医局会議室
題 : がん化学療法における副作用について (part1)
者 : 天野正康

講開場演
催 名 : 化学療法委員会勉強会
日 : 2017年4月21日
所 : 医局会議室
題 : がん化学療法における副作用について (part2)
者 : 天野正康

講開場演
催 名 : 循環器チーム委員会勉強会
日 : 2018年1月16日
所 : 6Fホール
題 : 循環器で知っておきたいくすり
者 : 服部寧乃

『講 演』

講開場演
催 名 : 印旛支部薬剤師研修会
日 : 2017年8月23日
所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール
題 : 骨粗鬆症マネージャーの取り組み
者 : 鈴木諒

講開場演
催 名 : 千葉市大腿骨頸部骨折-地域医療連携研修会
日 : 2017年10月23日
所 : 国立病院機構千葉医療センター 地域医療研修センター
題 : 当院骨粗鬆症リエゾンサービスにおける薬剤師の関わり
者 : 鈴木諒

- | | | | |
|------------------|-------------|----------------------------|---|
| 講
開
場
講 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | 名 : みなと区骨粗鬆症リエゾンセミナー
日 : 2017年12月5日
所 : 北里大学病院研究所
名 : 当院骨粗鬆症リエゾンサービスと薬剤師の役割
者 : 鈴木諒 |
| 講
開
場
講 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | 名 : 千葉西部腎疾患・透析セミナー
日 : 2018年1月23日
所 : ホテルマークワン CNT
名 : 透析センター常駐業務をはじめて
者 : 飯塚由佳 |
| 講
開
場
講 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | 名 : 亀田総合病院出張講演
日 : 2018年2月15日
所 : 亀田総合病院
名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスにおける薬剤師の役割
者 : 鈴木諒 |
| 講
開
場
講 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | 名 : 骨粗鬆症医療連携講演会
日 : 2018年3月19日
所 : ウィシュトンホテルユーカリ
名 : 当院における骨粗鬆症リエゾンサービスの現状
者 : 鈴木諒 |

『その他』

- | | | | |
|-----------------------|---|-----------------------|---|
| そ
日
場
題
氏 | の | 他
付
所
名
名 | 名 : キッセイ薬品社内勉強会
付 : 2018年2月7日
所 : きぼーる 千葉
名 : 当院におけるスクロオキシ水酸化鉄チュアブル錠の使用経験と報告
名 : 飯塚由佳 |
|-----------------------|---|-----------------------|---|

【放射線科】

『国際学会』

- | | | | |
|------------------|--------|-----------------------|--|
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名
日
所
題
者 | 名 : ISMRM(International Society for Magnetic Resonance in Medicine)
日 : 2017年4月21日－28日
所 : Hawaii Covention Center
題 : Assessment of image qualities of multi planar reformatted images depending on imaging planes of a variable refocus flip angle 3D FSE sequence (Cube) in cervical spine MRI
者 : Yumi Koizumi |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名
日
所
題
者 | 名 : The 8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics
日 : 2017年9月15日－16日
所 : Osaka University Convention Center
題 : Comparison of cone-based plan and 5mm MLC VMAT SRS Brain metastases plans.
者 : Yoshiaki Kato |

『国内学会』

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 73 回日本放射線技術学会総会学術大会
日 : 2017 年 4 月 13 日
所 : パシフィコ横浜
題 : Basic study of Variable Refocus Flip Angle 3D FSE For
Musculoskeletal in the Knee Joint
者 : Yumi Koizumi |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会
日 : 2017 年 9 月 14 日 - 16 日
所 : 栃木県総合文化センター
題 : 肩関節検査における geometry factor を考慮した T2 強調画像の検討
者 : 園田優 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 45 回日本磁気共鳴医学会大会
日 : 2017 年 9 月 14 日 - 16 日
所 : 栃木県総合文化センター
題 : Examination of new sensitivity correction process (PURE
Body) in hepatocyte phase using Gd-EOB DTPA contrast agent
at 3.0 T MRI
者 : Yumi Tada |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 33 回日本診療放射線技師学術大会
日 : 2017 年 9 月 22 日 - 24 日
所 : 函館市民会館・函館アリーナ
題 : 整形領域に対する高分解能の基礎的検討
者 : 園田優 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 33 回日本診療放射線技師学術大会
日 : 2017 年 9 月 22 日 - 24 日
所 : 函館市民会館・函館アリーナ
題 : 腰部脊椎術後スクリューに対する metal artifact 低減の基礎的検討
者 : 林翔太 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会
日 : 2017 年 10 月 19 日 - 21 日
所 : 広島国際会議場
題 : Dual Energy CT を用いた Low keV Image に対する逐次近似応用再
構成画像の基礎的検討
者 : 園田優 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会
日 : 2017 年 10 月 19 日 - 21 日
所 : 広島国際会議場
題 : 異なる逐次近似応用再構成が低線量 CT に及ぼす影響
者 : 塚本悟之 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 12 回聖隷佐倉市民病院院内学会
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6F ホール
題 : 放射線情報システムを活用した患者待ち時間改善
者 : 石橋知子 |

- 学開場演 会催 名 : 日本放射線腫瘍学会 第30回学術大会
日 : 2017年11月17日-19日
所 : ナレッジキャピタルコングレコンペティションセンター
題 : ガフクロミックフィルム使用時における特性曲線の取得期間による影響
演 者 : 加藤由明
- 学開場演 会催 名 : 日本放射線腫瘍学会 第30回学術大会
日 : 2017年11月17日-19日
所 : ナレッジキャピタルコングレコンペティションセンター
題 : 赤外線カメラ式呼吸同期システムにおける頭尾・左右運動の波形認識に関する検討
演 者 : 坂原史甫子
- 学開場演 会催 名 : 第11回聖隷放射線部関東合同学術大会
日 : 2018年1月20日
所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール
題 : 患者の被曝低減を目的とした再撮影率低減の試み
演 者 : 荒田百合南
- 学開場演 会催 名 : 第11回聖隷放射線部関東合同学術大会
日 : 2018年1月20日
所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール
題 : 前立腺治療において患者着衣が皮膚線量に与える影響の検討
演 者 : 沼田彩美
- 学開場演 会催 名 : 第11回聖隷放射線部関東合同学術大会
日 : 2018年1月20日
所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール
題 : 乳がん検診において適性検査の推進に向けた試み～マンモグラフィにおける乳腺濃度判定の統一～
演 者 : 渡辺玲奈
- 学開場演 会催 名 : 千葉県診療放射線技師会第68回学術大会
日 : 2018年2月4日
所 : サンライズ九十九里
題 : 千葉県内における血管撮影部門の実態調査2017
-各領域における血管撮影実施動向・スタッフ体制を中心に-
演 者 : 渡邊強
- 学開場演 会催 名 : 千葉県診療放射線技師会第68回学術大会
日 : 2018年2月4日
所 : サンライズ九十九里
題 : 当院の心筋シンチグラフィにおける収集時間の基礎的検討
演 者 : 荒川寛貴

『講 義』

- 講開場演 義催 名 : 千葉県診療放射線技師会フレッシューズセミナー
日 : 2017年6月11日
所 : 井上記念病院 8階 講堂
題 : 医療安全
演 者 : 高石真人

講 開 場 演 演	義 催	名 : 放射線防護勉強会 日 : 2017年6月14日 所 : 6F ホール 題 : 放射線防護 者 : 加藤由明
講 開 場 演 演	義 催	名 : 平成29年度 関東MR研究会 MR 専門技術者認定試験対策セミナー 日 : 2017年11月18日 所 : 千葉大学けやき会館 題 : 基礎2 (その他) 者 : 多田百未
講 開 場 演 演	義 催	名 : 日本診療放射線技師会 基礎技術講習 (血管造影検査) 日 : 2017年11月26日 所 : 千葉大学医学部付属病院 題 : 四肢血管撮影 者 : 渡邊強
講 開 場 演 演	義 催	名 : C-MAC 勉強会 日 : 2018年2月20日 所 : 千葉メディカルセンター 題 : 神経内科ルーチンについて ~認知症の画像診断を中心に~ 者 : 多田百未

『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演	会 名 : さくら骨粗鬆症他職種懇話会 日 : 2017年4月19日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6F ホール 名 : 骨密度検査について ~検査方法と結果の見方~ 者 : 石田拓未
講 開 場 講 講	演 催 演	会 名 : 核医学技術研究会 日 : 2017年4月21日 所 : 千葉市文化センター 名 : 骨シンチグラフィの読み方 者 : 石田拓未
講 開 場 講 講	演 催 演	会 名 : 千葉県カテ室コメディカル研究会 日 : 2017年6月24日 所 : 千葉徳洲会病院 名 : 聖隷佐倉市民病院 カテ室紹介 者 : 渡邊強
講 開 場 講 講	演 催 演	会 名 : 循環器チーム委員会勉強会 日 : 2017年7月4日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6F ホール 名 : 血管造影室での被曝管理について 者 : 渡邊強
講 開 場 講 講	演 催 演	会 名 : 第23回 千葉 GE SIGNA User's Meeting 日 : 2017年9月7日 所 : 聖隷佐倉市民病院 名 : 1分で撮像!! 動きに強い肩関節のT2WI ★ 者 : 多田百未

- 講演催演会名 : 2017年千葉MRIセミナー
 開場催日 : 2017年10月28日
 場催所 : 千葉文化センター
 講演演名 : 肘関節
 講演者 : 園田優
- 講演催演会名 : 2017 Signa 甲子園 in Osaka
 開場催日 : 2017年12月9日
 場催所 : 千里ライフサイエンスセンター
 講演演名 : 1分で撮像!!動きに強い肩関節のT2WI ★
 講演者 : 多田百未
- 講演催演会名 : 第72回千葉県撮影技術研究会
 開場催日 : 2018年1月6日
 場催所 : 千葉大学けやき会館
 講演演名 : 救急撮影に必要な知識と技術 腹部領域
 講演者 : 園田優
- 講演催演会名 : 第11回聖隷放射線部関東合同学術大会
 開場催日 : 2018年1月20日
 場催所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール
 講演演名 : RIS導入後の振り返りについて
 講演者 : 竹之内充
- 講演催演会名 : 第42回千葉MRIセミナー
 開場催日 : 2018年2月3日
 場催所 : 千葉市文化センター
 講演演名 : 骨盤部MRI検査におけるCubeの有用性
 講演者 : 多田百未
- 講演催演会名 : 亀田総合病院出張講演
 開場催日 : 2018年2月15日
 場催所 : 亀田総合病院
 講演演名 : 骨密度検査について ~リエゾン活動と結果の見方~
 講演者 : 石田拓未

【栄養科】

『論文』

- 雑誌名 : 更年期とヘルスケア
 題名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスにおける管理栄養士の役割と現状の課題について
 著者 : 青木尚美、小谷俊明、宮崎木の実、加藤木丈英、元田宏美
 巻、ページ、年度 : Vol.16 (2017年6月号)

『国内学会』

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 25 回千葉県 NST ネットワーク
日 : 2017 年 5 月 13 日
所 : 千葉県 京葉銀行文化プラザ
題 : 当院摂食嚥下センターの活動報告～薄トロミ食導入まで～
者 : 青木尚美、加藤純加、津田豪太 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 12 回聖隷佐倉市民病院院内学会
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院
題 : 食事の盛り付け方の効果と検証
者 : 金崎葵、安拓郎、小倉文子、吉村有紀子、加藤純加、日向亜希子、
要玲奈、岡井忠志、青木尚美 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 33 回日本静脈経腸栄養学会
日 : 2018 年 2 月 22 日
所 : 神奈川県 パシフィコ横浜
題 : 褥瘡感染による敗血症性ショック状態患者に L-カルノシン配合栄
養補助食品を使用し褥瘡が改善した一症例
者 : 加藤純加、青木尚美、青木佐紀子、富田歩子、大木麻理子、
松田裕美、津田豪太、大島祐二 |

『講 義』

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 講
開
場
演
演 | 義
催 | 名 : 特別講義
日 : 2017 年 7 月 4 日
所 : 千葉県 千葉県立保健医療大学
題 : 「臨床栄養の実際、臨地実習の心構え」
者 : 青木尚美 |
| 講
開
場
演
演 | 義
催 | 名 : NST 勉強会
日 : 2017 年 11 月 7 日
所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院
題 : NST 管理栄養士の役割
者 : 加藤純加 |
| 講
開
場
演
演 | 義
催 | 名 : NST 勉強会
日 : 2017 年 11 月 7 日
所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院
題 : 院内食事基準について
者 : 加藤純加 |
| 講
開
場
演
演 | 義
催 | 名 : NST 勉強会
日 : 2017 年 11 月 7 日
所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院
題 : 栄養アセスメント
者 : 加藤純加 |
| 講
開
場
演
演 | 義
催 | 名 : NST 勉強会
日 : 2017 年 11 月 7 日
所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院
題 : 経腸栄養剤
者 : 加藤純加 |

講 開 場 演 演	義 催	名 : NST 勉強会 日 : 2017 年 11 月 9 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : 嚥下食の作り方 者 : 加藤純加
講 開 場 演 演	義 催	名 : 褥瘡勉強会 日 : 2017 年 11 月 20 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : 褥瘡患者の栄養管理 者 : 加藤純加
講 開 場 演 演	義 催	名 : NST 勉強会 日 : 2018 年 1 月 9 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : NST 管理栄養士の役割 者 : 加藤純加
講 開 場 演 演	義 催	名 : NST 勉強会 日 : 2018 年 1 月 9 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : 栄養評価、入院時栄養スクリーニング 者 : 加藤純加
講 開 場 演 演	義 催	名 : 循環器疾患勉強会 日 : 2018 年 2 月 20 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : 循環器疾患の栄養管理 者 : 金崎葵
講 開 場 演 演	義 催	名 : 化学療法委員会勉強会 日 : 2018 年 3 月 16 日 所 : 千葉県 聖隷佐倉市民病院 題 : 化学療法と食事 者 : 金崎葵

『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 佐倉 ロコモティブシンドローム疾患啓発イベント 日 : 2017 年 11 月 12 日 所 : 千葉県 ウィシュトンホテルユーカリ 名 : 骨太元気で理想の生活 者 : 安拓郎
-----------------------	------------------	---

【臨床工学室】

『国内学会』

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 12 回クリアランスギャップ研究会学術集会 日 : 2017 年 8 月 26 日 - 8 月 27 日 所 : 幕張メッセ国際会議場 題 : VA トラブルにおける予防的治療を目指した VA 管理への取り組み 者 : 富沢美香
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 23 回日本 HDF 研究会学術集会 日 : 2017 年 9 月 30 日 - 10 月 1 日 所 : 岩手県民情報センター 題 : MFX15Meco と ABH15P の生体適合性の比較 者 : 保科正浩
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 12 回聖隷佐倉市民病院院内学会 日 : 2017 年 11 月 11 日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6F ホール 題 : I/A 件数ゼロ運動 ～危険認識の統一と安全な職場体制の確立に向けて～ 者 : 新井大輔
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 22 回千葉県臨床工学技士会発表会 日 : 2018 年 3 月 4 日 所 : 京葉銀行文化プラザ 6F 樓 I ～ III 題 : ディスポーザブルパルスオキシメータープローブの性能比較 者 : 高梨有史
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 22 回千葉県臨床工学技士会発表会 日 : 2018 年 3 月 4 日 所 : 京葉銀行文化プラザ 6F 樓 I ～ III 題 : I/A からみえた組織の課題と改革への取り組み 者 : 高岡伸次

『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 催	名 : 東京バスキュラアクセス カンファレンス 日 : 2018 年 2 月 8 日 所 : 浦安ブライトンホテル 名 : エコーでの VA 管理の道のり 者 : 富沢美香
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 催	名 : 旭化成メディカル社内講演 日 : 2018 年 3 月 23 日 所 : 旭化成本社ビル 名 : モチベーション向上のための取り組み 者 : 高岡伸次

『その他』

その他 : 臨床工学部門合同研修会
日付 : 2017年7月30日
場所 : 聖隷浜松病院医局管理棟
題名 : 私が感じるCEの魅力
氏名 : 今井拓司

その他 : 臨床工学部門合同研修会
日付 : 2017年11月5日
場所 : 聖隷浜松病院医局管理棟
題名 : CEの魅力と当院の課題
氏名 : 有田雅哉

【リハビリテーション室】

『論文』

雑誌名 : 更年期と加齢のヘルスケア
題名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスのシステム構築と理学療法士の役割
著者 : 加藤木丈英、白井智裕、小谷俊明、宮崎木の実、元田宏美、
青木尚美

巻、ページ、年度 : 第16巻、第1号、69-73、2017

雑誌名 : Dr. クロワッサン (運動編監修)
題名 : 何歳からでも骨は強くなる。
著者 : 加藤木丈英 運動編監修、太田博明 総監修
巻、ページ、年度 : 50-80、2018

雑誌名 : 日本骨粗鬆症学会雑誌 (OLS 活動奨励賞受賞)
題名 : 内科医師から始まる院内多職種協働による OLS の展開
ー慢性腎臓病保存期から透析期における続発性骨粗鬆症患者に対する
試みー
著者 : 加藤木丈英、藤井隆之、小谷俊明、宮崎木の実、三上浩史、鈴木諒、
青木尚美、石田拓未、伊藤和美
編集社、ページ、年度 : 第4巻、第1号、56-60、2018

雑誌名 : Osteoporosis Japan PLUS
題名 : 理学療法士の役割と他職種とのコミュニケーション
著者 : 加藤木丈英
巻、ページ、年度 : Vol. 3、No1、30-32、2018

雑誌名 : Osteoporosis Japan PLUS
題名 : 在宅診療・介護に向けて地域多職種連携を推進
著者 : 加藤木丈英
巻、ページ、年度 : Vol. 3、No1、38-39、2018

『国内学会』

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 22 回日本徒手理学療法学会学術大会
日 : 2017 年 4 月 1 日 - 2 日
所 : 埼玉県立大学
題 : 肩腱板断裂術後の肩関節外旋制限に対する遠位からの筋膜リリース介入の即時効果
者 : 原園学、白井智裕 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会
日 : 2017 年 4 月 13 日 - 15 日
所 : ロイトン札幌・さっぽろ芸文館 (北海道札幌市)
題 : 思春期特発性側弯症術後 35 年経過例の運動能力はどうか
者 : 加藤木丈英、赤澤努、小谷俊明、奥村太朗、原園学、中山敬太、佐久間毅、南昌平 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会
日 : 2017 年 4 月 13 日 - 15 日
所 : ロイトン札幌・さっぽろ芸文館 (北海道札幌市)
題 : 思春期特発性側弯症術後患者の立ち上がり動作の変化
者 : 加藤木丈英、奥村太朗、原園学、中山敬太、佐久間毅、赤澤努、小谷俊明、南昌平 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 52 回全国理学療法学会学術集会
日 : 2017 年 5 月 12 日 - 14 日
所 : 幕張メッセ国際会議場・国際展示場、東京ベイ幕張ホール (千葉県千葉市)
題 : 重度低栄養をきたし、ドライウエイトコントロールがうまくいかず、透析中の血圧低下、転倒を生じてしまった一症例の検討
者 : 山口智也、加藤木丈英、島袋匠、中村圭、原園学、知識愛花、白井智裕 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 52 回日本理学療法学会学術集会
日 : 2017 年 5 月 12 日 - 14 日
所 : 幕張メッセ国際会議場・国際展示場、東京ベイ幕張ホール (千葉県千葉市)
題 : Outcome of Physical Fitness Tests 35 Years After Surgery for Adolescent Idiopathic Scoliosis
者 : Takehide Katogi, Toshiaki kotani, Taro Okumura, Kei Kawai, Tomohiro Shirai, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Syohei Minami |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 52 回全国理学療法学会学術集会
日 : 2017 年 5 月 12 日 - 14 日
所 : 幕張メッセ国際会議場・国際展示場、東京ベイ幕張ホール (千葉県千葉市)
題 : リバース型全人工肩関節置換術後の三角筋硬度変化と肩関節挙上可動域に関連する因子
者 : 川合慶、佐々木裕、白井智裕、奥村太朗、 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 54 回日本リハビリテーション医学会学術集会
日 : 2017 年 6 月 8 日 - 10 日
所 : 岡山コンベンションセンターなど
題 : 当院地域包括ケア病棟における脊椎椎体骨折患者の日常生活動作能力評価の改善の相関について
者 : 芝野亨、白井智裕、加藤木丈英、原園学、奥村太朗、神崎貴達 |

- 学開場演 会催 名 : 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会
日 : 2017年6月8日-10日
所 : 岡山コンベンションセンターなど
題 : リバーズ型全人工肩関節置換術術後の肩峰大結節間距離と自動挙上
角度の検討
者 : 奥村太朗、佐々木裕、小谷俊明、白井智裕、川合慶、小川侑男、
南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会
日 : 2017年6月8日-10日
所 : 岡山コンベンションセンターなど
題 : 中咽頭癌の放射線治療後、軟口蓋萎縮と咽頭後壁の浮腫により嚥下
障害を呈した1例
者 : 前田暁子、白井智裕
- 学開場演 会催 名 : 第18回言語聴覚学会
日 : 2017年6月23日-24日
所 : くにびきメッセ
題 : 嚥下機能改善手術を行った脳腫瘍治療後の慢性期重度嚥下障害患者
に対してチームアプローチが奏功した一例
者 : 清宮悠人、津田豪太
- 学開場演 会催 名 : 第22回緩和医療学会学術大会
日 : 2017年6月23日-24日
所 : パシフィコ横浜
題 : 緩和療養中の半夏瀉心湯含嗽の有用性の検討
者 : 五十嵐麻美、村上敏史、津田豪太、上園保仁、宮野加奈子、
上野尚雄、八岡和歌子、鈴木恵里、石井妙子、松田裕美
- 学開場演 会催 名 : 第67回日本病院学会
日 : 2017年7月20日-21日
所 : 神戸国際会議場(兵庫県神戸市)
題 : 当院における包括的な骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)の展開
者 : 加藤木丈英、三上浩史、宮崎木の実、木村弘美、鈴木諒、元田宏美、
石田拓未、青木尚美、藤井隆之、岸田俊二、小谷俊明
- 学開場演 会催 名 : 第51回日本側弯症学会学術集会
日 : 2017年8月24日-25日
所 : 札幌プリンスホテル 国際館 パミール(北海道札幌市)
題 : 思春期特発性側弯症患者における術後肩関節可動域の変化と疼痛の
関係
者 : 原園学、加藤木丈英、奥村太朗、中山敬太、小谷俊明、佐久間毅、
南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第51回日本側弯症学会学術集会
日 : 2017年8月24日-25日
所 : 札幌プリンスホテル 国際館 パミール(北海道札幌市)
題 : 思春期特発性側弯症の後方矯正固定術後の体幹筋力の経過
者 : 奥村太朗、加藤木丈英、原園学、白井智裕、中山敬太、佐久間毅、
小谷俊明、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第51回日本側弯症学会学術集会
日 : 2017年8月24日-25日
所 : 札幌プリンスホテル 国際館 パミール(北海道札幌市)
題 : 思春期特発性側弯症術後長期経過例の運動経験と運動能力の関係
者 : 加藤木丈英、赤澤努、小谷俊明、奥村太朗、原園学、中山敬太、
佐久間毅、南昌平

- 学開場演 会催 名 : 第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
日 : 2017年9月15日-16日
所 : 幕張メッセ
題 : 当院における嚥下機能評価の実際と経口摂取への取り組み
者 : 清宮悠人、前田暁子、五十嵐麻美、馬目美由紀、津田豪太
- 学開場演 会催 名 : 第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
日 : 2017年9月15日-16日
所 : 幕張メッセ
題 : 歯科標榜のない病院での歯科衛生士の取り組み
~摂食嚥下チームの一員として~
者 : 五十嵐麻美、清宮悠人、前田暁子、馬目美由紀、宍倉亮、青木尚美、津田豪太
- 学開場演 会催 名 : 第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
日 : 2017年9月15日-16日
所 : 幕張メッセ
題 : ストレッチャーでのVF時に安定した姿勢保持を目的に補助具を製作した取り組み
者 : 宍倉亮、津田豪太、五十嵐麻美、清宮悠人、前田暁子
- 学開場演 会催 名 : 第66回東日本整形災害外科学会
日 : 2017年9月15日-16日
所 : 京王プラザホテル(東京都新宿区)
題 : 当院における地域と連携した骨粗鬆症 リエゾンサービスの展開
(主題: パネルディスカッション)
者 : 加藤木丈英、三上浩史、宮崎木の実、木村弘美、鈴木諒、元田宏美、石田拓未、青木尚美、藤井隆之、岸田俊二、小谷俊明
- 学開場演 会催 名 : 第43回ちば運動器リハビリテーション研究会 合同カンファレンス
日 : 2017年9月16日
所 : 北千葉整形外科 美浜クリニック(千葉県千葉市)
題 : 骨粗鬆症における地域医療連携(さくらモデル)で見えてきた現状と課題~OLSで必要とされるファシリテーション能力とは?~
(パネルディスカッション)
者 : 加藤木丈英、三上浩史、宮崎木の実、木村弘美、鈴木諒、元田宏美、石田拓未、青木尚美、藤井隆之、岸田俊二、小谷俊明
- 学開場演 会催 名 : 第14回肩の運動機能研究会
日 : 2017年10月6日-8日
所 : グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
題 : RSA後における三角筋筋硬度変化と肩関節自動挙上角の関係
者 : 川合慶、佐々木裕、奥村太朗、小川侑男、廣田知佐恵、白井智裕
- 学開場演 会催 名 : 第14回肩の運動機能研究会
日 : 2017年10月6日-8日
所 : グランドプリンスホテル新高輪
題 : 反転型全人工肩関節置換術後の肩峰大結節間距離と自動挙上の検討
者 : 奥村太朗、佐々木裕、川合慶、小川侑男、廣田知佐恵、白井智裕
- 学開場演 会催 名 : 第14回肩の運動機能研究会
日 : 2017年10月6日-8日
所 : グランドプリンスホテル新高輪
題 : 反転型全人工肩関節置換術後の肩峰大結節間距離と三角筋筋硬度
者 : 小川侑男、佐々木裕、川合慶、奥村太朗、廣田知佐恵、白井智裕

- 学開場演
催
名 : 第9回 聖隷リハビリテーション研究会
日 : 浜松アクトシティー
所 : 2017年10月8日
題 : 転倒恐怖心が人工股関節全置換術術後の身体機能に及ぼす影響
者 : 山口智也、矢倉千昭、加藤木丈英、池田陽香、白井智裕、岸田俊二
- 学開場演
催
名 : 第9回聖隷リハビリテーション研究会
日 : 2017年10月8日
所 : 浜松アクトシティー
題 : 大腿骨近位部骨折患者に対する多職種連携アプローチ・早期手術の
取組みについて
者 : 池田陽香
- 学開場演
催
名 : 第63回日本音声言語医学会
日 : 2017年10月11日－12日
所 : 仙台国際センター
題 : 嚥下機能改善手術術後患者における顎突出嚥下法の習得例と難渋例
者 : 清宮悠人、津田豪太
- 学開場演
催
名 : 第19回日本骨粗鬆症学会
日 : 2017年10月20日
所 : 大阪国際会議場（大阪府大阪市）
題 : 当院における大腿骨近位部骨折および脊椎椎体骨折患者の後ろ向き
調査
者 : 加藤木丈英、岸田俊二、宮崎木の実、木村弘美、鈴木諒、元田宏美、
石田拓未、青木尚美、三上浩史、藤井隆之、小谷俊明
- 学開場演
催
名 : 第19回日本骨粗鬆症学会
日 : 2017年10月20日
所 : 大阪国際会議場（大阪府大阪市）
題 : 慢性腎臓病（CKD）患者の骨密度・ロコモティブシンドロームの全
例調査
者 : 加藤木丈英、藤井隆之、石田拓未、三上浩史、宮崎木の実、
木村弘美、鈴木諒、元田宏美、青木尚美、岸田俊二、小谷俊明
- 学開場演
催
名 : 第44回日本股関節学会学術集会
日 : 2017年10月20日－21日
所 : 京王プラザホテル
題 : 転倒恐怖心が人工股関節全置換術術後の身体機能に及ぼす影響
者 : 山口智也、矢倉千昭、加藤木丈英、池田陽香、白井智裕、岸田俊二
- 学開場演
催
名 : 第19回日本骨粗鬆症学会
日 : 2017年10月23日
所 : 大阪国際会議場（大阪府大阪市）
題 : 骨粗鬆症リエゾンサービス セッションの座長
者 : 加藤木丈英
- 学開場演
催
名 : 第25回日本腰痛学会
日 : 2017年11月3日－4日
所 : 東京コンファレンスセンター品川
題 : 体幹前後屈時の疼痛による可動域制限に対し、後頭部への介入によ
る効果
者 : 原園学、白井智裕

- 学開場演
演
催
名 : 第 12 回院内学会 (特別賞)
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール (千葉県佐倉市)
題 : 保存期 CKD 患者における骨 (こつ) と運動機能の全例調査
者 : 加藤木丈英、宮崎木の実、木村弘美、山崎祐子、元田宏美、石田拓未、青木尚美、三上浩史、藤井隆之、岸田俊二、小谷俊明
- 学開場演
演
催
名 : 第 12 回院内学会 (事務長賞)
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール (千葉県佐倉市)
題 : 維持透析患者への運動療法の効果
者 : 知識愛花、山口智也、島袋匠、加藤木丈英、白井智裕、鈴木知子、高野弘栄、藤井隆之、鈴木理志
- 学開場演
演
催
名 : 第 12 回院内学会
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール (千葉県佐倉市)
題 : 嚥下機能改善手術を行った慢性期重度嚥下障害患者に対してチームアプローチが奏功した一例
者 : 清宮悠人、前田暁子、五十嵐麻美、宍倉亮、芝野亨、馬目美由紀、斉藤智子、吉村有紀子、津田豪太
- 学開場演
演
催
名 : 第 12 回院内学会
日 : 2017 年 11 月 11 日
所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール (千葉県佐倉市)
題 : 経口訓練と経腸栄養を併用した結果、嚥下障害が改善し自宅退院が可能となった症例
者 : 前田暁子、清宮悠人、山口智也、白井智裕、津田豪太
- 学開場演
演
催
名 : 第 45 回千葉県透析研究会
日 : 2017 年 11 月 26 日
所 : 京葉銀行プラザ
題 : 3 ヶ月間の透析中の運動療法の効果
者 : 山口智也、矢部広樹、島袋匠、加藤木丈英、知識愛花、白井智裕、鈴木知子、高野弘栄、藤井隆之、鈴木理志
- 学開場演
演
催
名 : 第 47 回千葉スポーツ医学研究会
日 : 2018 年 1 月 13 日
所 : 千葉メディカルセンター (千葉県千葉市)
題 : 術後 27 年以上経過した思春期特発性側弯症 (AIS) 患者における運動能力の定量解析
者 : 加藤木丈英、赤澤努、小谷俊明、奥村太朗、原園学、佐久間毅、南昌平
- 学開場演
演
催
名 : 第 41 回日本嚥下医学会
日 : 2018 年 2 月 9 日 10 日
所 : 仙台銀行ホールイブズミティ 21
題 : 降下性壊死性縦隔炎後の嚥下生涯に対し、頸部の瘢痕拘縮・喉頭挙上の制限への間接訓練が奏功した一例
者 : 清宮悠人、津田豪太
- 学開場演
演
催
名 : 第 8 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会
日 : 2018 年 3 月 17 日 - 18 日
所 : 仙台国際センター (宮城県仙台市)
題 : 保存期 CKD 患者における骨 (こつ) と運動機能の前向き全例調査
者 : 加藤木丈英、藤井隆之、宮崎木の実、木村弘美、石田拓未、青木尚美、三上浩史、鈴木理志

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第8回腎臓リハビリテーション学会学術集会 日 : 2018年3月17日-18日 所 : 仙台国際センター(宮城県仙台市) 題 : 透析中の運動療法介入と非透析日の運動指導が非透析日の運動習慣に与える影響 者 : 山口智也、矢部広樹、島袋匠、加藤木丈英、知識愛花、三嶽侑哉、白井智裕、鈴木知子、高野弘栄、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回千葉県理学療法士学会 日 : 2018年3月18日 所 : 千葉県立医療福祉大学 題 : 精神的ストレス課題に対する心血管応答 者 : 三嶽侑哉、矢倉千昭、白井智裕
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第32回東日本手外科学会 日 : 2018年2月3日 所 : 伊藤国際学術研究センター(東京都文京区) 題 : 橈骨遠位端骨折術後のバラガーゼ法による浮腫予防の効果 者 : 高橋勇大、上野啓介

『講 演』

講 開 場 講	演 催	名 : ファイザーインターネットシンポジウム 日 : 2017年4月17日 所 : 東銀座スタジオ(東京都中央区) 名 : 地域における骨粗鬆症マネージャーの実際 ー骨粗鬆症マネージャーの役割ー 者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催	名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスカンファレンス 日 : 2017年5月27日 所 : 国際ファミリープラザ(鳥取県米子市) 名 : 当院の骨粗鬆症リエゾンサービスの現状と課題 ーさくらモデルによる一次骨折予防と二次骨折予防から見てきたものー 者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催	名 : 第1回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 日 : 2017年6月8日 所 : 船橋グランドホテル(千葉県船橋市) 名 : 第1回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 座長 兼 司会 者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催	名 : 骨粗鬆症治療 地域連携セミナー 日 : 2017年7月5日 所 : リーガホテルゼスト高松(香川県高松市) 名 : 佐倉地区での骨粗鬆症リエゾンサービスの展開 ーさくらモデルによる多職種医療連携の実際ー 者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催	名 : ファシリテーション講演会 日 : 2017年9月3日 所 : ベルサール神保町(東京都千代田区) 名 : 骨粗鬆症における地域医療連携(さくらモデル)で見えてきた現状と課題ーOLSで必要とされるファシリテーション能力とは?ー 者 : 加藤木丈英

講 開 場 講	演 催 演	名 : 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 日 : 2017 年 9 月 15 日 - 16 日 所 : 幕張メッセ 名 : 誤嚥性肺炎により COPD 増悪した患者に対し、私たちは何ができるか ～たべるための口づくりと評価の視点～
講	演 者	者 : 清宮悠人
講 開 場 講	演 催 演	名 : Osteoporosis Liaison Seminar 日 : 2017 年 9 月 21 日 所 : オークラホテル丸亀 (香川県丸亀市) 名 : 地域に根ざした多職種協働骨粗鬆症リエゾンサービスの実際 ～「さくらモデル」による 1 次骨折予防～
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 骨粗鬆症リエゾンフォーラム 日 : 2017 年 9 月 26 日 所 : 島根大学医学部 臨床講義棟 小講堂 (島根県出雲市) 名 : さくらモデルによる多職種地域医療連携の実際
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 第 19 回日本骨粗鬆症学会 日 : 2017 年 10 月 20 日 所 : 大阪国際会議場 (大阪府大阪市) 名 : ファイザー (ランチョンセミナー)
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 第 19 回日本骨粗鬆症学会 日 : 2017 年 10 月 22 日 所 : 大阪国際会議場 (大阪府大阪市) 名 : 中外製薬 (ランチョンセミナー)
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 骨粗鬆症マネージャースキルアップワークショップ (ファーマー) 日 : 2017 年 11 月 19 日 所 : アポロ・ラーニングセンター (東京都大田区) 名 : OLS の進め方 ～骨粗鬆症マネージャーの立場から～
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 千葉若手骨粗鬆症研究会 日 : 2017 年 11 月 25 日 所 : 第一三共株式会社社会議室 (千葉県千葉市) 名 : 保存期 CKD 患者における骨 (こつ) と運動機能の全例調査
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスカンファレンス in 東京 日 : 2017 年 12 月 2 日 所 : ステーションコンファレンス池袋 (東京都豊島区) 名 : 佐倉地区での骨粗鬆症 リエゾンサービスの展開 ～「さくらモデル」による院内多職種連携と地域医療連携の実際～
講	演 者	者 : 加藤木丈英
講 開 場 講	演 催 演	名 : 第 2 回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 日 : 2017 年 1 月 17 日 所 : 京葉銀行文化プラザ (千葉県千葉市) 名 : 第 2 回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 座長 兼 司会
講	演 者	者 : 加藤木丈英

- 講演会名：ファシリテーション講演会
 開催日：2018年2月4日
 会場：ベルサール田町（東京都港区）
 講演名：骨粗鬆症リエゾンサービスにおけるチームビルディングのコツ
 ～なぜ今ファシリテーション能力が必要とされるのか？～
 講演者：加藤木丈英
- 講演会名：亀田総合病院 出前講演
 開催日：2018年2月12日
 会場：亀田総合病院（千葉県鴨川市）
 講演名：当院の多職種多施設による骨粗鬆症リエゾンサービスと理学療法士の役割
 の役割
 講演者：加藤木丈英
- 講演会名：骨粗鬆症リエゾンサービスカンファレンス in 長野
 開催日：2018年2月17日
 会場：松本商工会議所（長野県松本市）
 講演名：当院の骨粗鬆症リエゾンサービスの光と闇
 ～さくらモデルによる一次骨折予防と二次骨折予防から見てきたもの～
 講演者：加藤木丈英
- 講演会名：骨粗鬆症リエゾン Web フォーラム
 開催日：2018年2月19日
 会場：ANA クラウンプラザホテル米子（鳥取県米子市）
 講演名：明日から始める骨粗鬆症リエゾンサービス
 ～佐倉市における多施設多職種連携の実際～
 講演者：加藤木丈英
- 講演会名：第3回山口中央 OLS 研究会
 開催日：2018年3月3日
 会場：ホテルニュータナカ（山口県山口市）
 講演名：多職種協働での骨粗鬆症リエゾンサービスへの挑戦
 ～「さくらモデル」による骨折一次予防のと二次予防の光と闇～
 講演者：加藤木丈英

『その他』

- その日の場題氏
 の他：千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 幹事会
 付：2017年9月6日
 所：中外製薬千葉支店会議室（千葉県千葉市）
 名：第2回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会の開催時期や内容について
 氏名：加藤木丈英、稲毛一秀、三上浩史、伊藤和美、小尾礼
- その日の場題氏
 の他：千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会 幹事会
 付：2017年11月17日
 所：中外製薬千葉支店会議室（千葉県千葉市）
 名：第2回千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会の開催内容について
 氏名：加藤木丈英、稲毛一秀、三上浩史、伊藤和美、小尾礼
- その日の場題氏
 の他：Osteoporosis Japan PLUS 取材
 付：2018年1月19日
 所：聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室
 名：理学療法士の役割と他職種とのコミュニケーションについて
 氏名：加藤木丈英